

- 1 だいまくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは二ぎようめに書き、文しよは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字さげて書きはじめ、だんらくしよにぎようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

( 月 日 曜日 )

一番の思い出 縄文杉登山

永田小 5年 小倉 晶

今まで一番の思い出は、縄文杉に行つた事だ。あのたくましさは今でも忘れていない。縄文杉に行く前日、すぐに行けると思つていた。だが父ちゃんにどれぐらいきついかを聞くど、太古岩よりずつと上らしい。その言葉を聞いたし、人間へ安心感がへつた。当日、少しきんちようした。出発して数分後、雨がふつてきた。結構な量がふつてきた。一分ぐ

らいで、くつかびしよぬれになつた。一つ目の休けい所で一休みしていった。雨の音でまわりの音がほとんど聞こえなかつた。地面に生えているコケですべり、転びそうになつた。ぼくは、と中であめをくおえながら歩いていった。甘さで、少しつかれがとれた。二つ目の休けい所では、足のふくらはぎがかたくなつていた。でも、まだまたよゆうだつた。と中でトロツコが来た。ぼくの思つた以上に大きかつた。もつと進んでいくと、次は登りコ

- 4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいちくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは一きようめに書き、文しよは二きようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくごにきようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも三ばんめのマスから書き、あたまをそらえましよう。

（ ）月 日 曜日

1 スだつた。始めの方は楽に行けたが、数分  
 もすると、へとへとになつた。ぼくは、そこ  
 らへんの岩にすわつた。しばらくすると、木  
 か所々ゆれて、何かの鳴き声が聞こえた。一  
 サルがいるかもな。父ちゃんが言つた。す  
 と進んでいくと、ウルソソかぶがあつた。  
 前日に父ちゃんから聞いた切りかぶで、切り  
 かぶに入り、一定の場所に立ち、上を見上あ  
 げると、ハートの形になると言われたが、ぼ  
 くは見れなかつた。少し残念だつた。でも、

父ちゃんには、カメラにばちりおさえていた。  
 進んでいると、また雨がふつてきた。リュツ  
 クサツクもびしょぬれになつた。と中と申休  
 む事が多くなつて、みんなを待たせる事が多  
 くなつてしまつた。人の声がだんだん大き  
 聞こえてきて、父ちゃんに、「上を見ろ。」と  
 言われ、顔を上げた。とたん、そこには、堂々  
 と立っている大きい縄文杉があつた。父ちゃん  
 人と見くらべても、構はばも、高さも父ちゃん  
 人の何十倍もあつた。弁当は少し行つた所で

- 4 と、は、それぞれ一字にきざえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



